

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2013.02.11-02.22

*記事は東京発行・最終版

CHINA

2月11日(月)

オーケマ、工場を拡張

旋盤・M C / 北京・台北

オーケマは、中国・北京市と台湾・台北市の工場を拡張する。北京は旋盤とM Cの生産能力を月40台程度向上。台北は月100台超向上させる。総投資額は30数億円。2013年内に着工する。(1面)

中央発條、湖北省に新工場

懸架バネ3万本/華南の車向け

中央発條は、中国・湖北省に自動車の懸架バネの工場を2014年5月に設置。月間3万台。現地バネメーカーの上海中国弹簧製造と折半出資の合弁会社。華南地域の自動車メーカー向け。(6面)

NEC、光一販売店にPO S

中国工商銀行と販売協業契約

NECは、中国工商銀行とPO S末端の販売協業契約を締結した。中国工商銀行は中国4大商業銀行の一角。第1弾として現地大手の光一販売店に納入。3年間で10万台の販売を目指す。(9面)

2月13日(水)

三桜工業、10工場新設

中国・インドなど/車用配管部品

三桜工業は、車用配管部品の新工場を新興国中心に10カ所に建設する。中国やインド、ロシア、メキシコなど6カ国に



年産10万 20万台分の工場を建設。日産など車メーカー向け。(1面)

ヤクルト、天津に第2工場棟

中国で日量687万本体制

ヤクルト本社は、中国で乳酸菌飲料「ヤクルト」の生産能力を強化する。広州工場の第2工場着工に続き、天津工場内に第2工場棟を建設、2014年6月稼働。中国全体で日量687万本に。(15面)

2月14日(木)

第一生命、合併設立を解消

中国華電集団/参入方針は継続

第一生命保険は、中国華電集団と進め

ていた合弁会社設立準備の基本合意を解消した。事業計画を含む経営方針の相違が発生、最終合意に至らなかった。第一生命は引き続き中国参入を目指す。

2月15日(金)

中国での介護ビジネス参入支援

大商ノウハウ・介護機器

大阪商工会議所は、中国での介護ビジネス参入を支援する事業に2013年度に乗り出す。介護施設のノウハウや介護機器・技術・サービスの展開の可能性を探り

参入を後押しする。(27面)

2月16日(土)

Jパワード、海外発電プロ加速

中国に最新鋭技術で石炭火力

海外展開を加速するJパワードが、中国で大型プロジェクトをスタート。広西チワン族自治区賀州市に、現地の電力会社などと最新鋭の石炭火力技術・超々臨界圧を用いた発電所を立ち上げ。(15面)

2月19日(火)

三菱電機、放電加工機15%増

中国・ASEANの金型に照準

三菱電機は、2014年3月期の放電加工機を15%増の2300台に設定した。海外向けが7~8割。ワイヤ放電加工機の世界戦略機を軸に、中国やASEANの金型、部品加工の需要を取り込む。(6面)

基幹業務システムを安価に刷新

日立ソリューションズ/中国IT企業と共同

日立ソリューションズは、中国のIT企業と共同で、NLTテクノロジーの基幹業務システムを刷新。ミオラクルのERPを活用。中国企業のERPノウハウを応用して開発費を抑えた。(9面)

2月20日(水)

対中貿易赤字、400億ドル突破

2012年輸出10.4%減

2012年の日中貿易は日本側が442億ドルの赤字と、初めて400億ドルを突破した。中国生産の拡大や不買運動、中国経済の減速などが響き、中国向け輸出が10.4%減少した。ジェトロが発表。(3面)

Jパワー、海外発電プロ加速

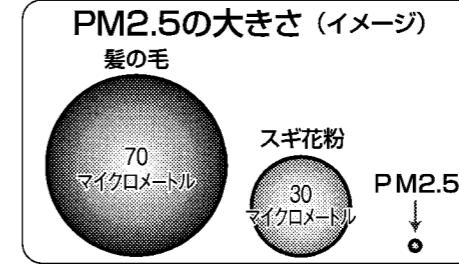
中国に最新鋭技術で石炭火力

海外展開を加速するJパワーが、中国で大型プロジェクトをスタート。広西チワン族自治区賀州市に、現地の電力会社などと最新鋭の石炭火力技術・超々臨界圧を用いた発電所を立ち上げ。(15面)

2月21日(木)

「PM2.5」対策急ピッチ

中国から越境、微小粒子状物質「PM2.5」が中国か



PM2.5の環境基準

	年平均値	1日平均値
中国	35ダカラ/m³	75ダカラ/m³
日本/米国	15ダカラ/m³	35ダカラ/m³
WHO指針	10ダカラ/m³	25ダカラ/m³

注: 中国は12年2月、PM2.5の基準を設定

ら偏西風に乗って越境。日本列島に飛来。濃度を監視するための測定器の整備など環境省は急ピッチ対策。商機を見いだそうという動きも。(深層断面=32面)

井関農機、中国・北米に攻勢

汎用型コンバインを新規投入

井関農機は、中国と北米市場を中心に2013年度に攻勢を掛ける。中国では半自動タバコ移植機の本格販売を始めるほか、水稻、麦、菜種などに対応する汎用型コンバインを新規投入する。(7面)

プロント、上海に中国第1号店
日本同様カフェバー

プロントコーポレーションは、中国での第1号店「プロント上海店」を3月5日にオープンする。日本の店舗と同様に朝から夕方までがカフェ、夜の時間帯がバーと二毛作営業形態をとる。(21面)

2月22日(金)

TOTO、若手社員を海外駐在
中国・欧州/1人で市場開拓

TOTOは、30歳前後の社員を海外駐在させる制度を2013年度に始める。中国や欧州の拠点で1年間語学や商慣行を学び、2年目以降は営業拠点のない地域に1人で常駐して市場開拓する。(3面)

ミシン・産口ボ、中国で攻勢
蛇の目/450億円規模に

蛇の目ミシン工業は、新興国での家庭用ミシンと産業用ロボットの需要増で、2016年3売上高を450億円に拡大する。ミシンはロシアや中国で低価格製品。産口ボは中国EM S向け。(7面)

ひと

復活のめど

「中国での不買運動による販売減の回復を見込んでいる」と富士重工業取締役専務執行役員の高橋充さん。一度、下方修正した計画を引き上げた。2012年12月は前年同月比20%増、1月は同27%増。マイナスが続く他のメーカーを尻目に「復活のめどが立った」。(14面=5面)

タイなどでアジア338店。(17面)

2月15日(金)

ミヤンマーで三菱車を保守

三菱自・商事・現地企業など

三菱自動車と三菱商事、自動車ディーラーなどを手掛けるYSH(シンガポール)とFMI(ミヤンマー)の4社は、ミヤンマーで三菱車のアフターセールス事業に参入する。(6面)

タイにアジア統括会社

日邦産業/意思決定を迅速化

日邦産業は、タイ・バンコクにアジア地域の統括会社を2月下旬に設立する。日本から職務権限の一部を移し、中国やフィリピンなど海外子会社9社の意思決定の迅速化や内部統制の強化。(7面)

2月19日(火)

ホンダ、マレーシア販売83%増

6万4000台/ディーラー5割増

ホンダは、2013年にマレーシアでの4輪車販売を83%増の6万4000台に。新モデルを投入するほか、販売、サービス、部品交換ができるディーラー網を3年内に5割増の90店舗に拡大。(5面)

IHI、タイ第3工場

ターボチャージャー/3.5倍280万台

IHIは、タイ東南部アマタナコン工業団地に建設していた車載用ターボチャージャーの新工場が完成。2013年10月から量産を始める。第3工場として建設。生産能力は3.5倍の280万台。(5面)

粉体エンジ、東南アに展開

東洋ハイテック/マレーシア事務所

東洋ハイテックは、粉体プラントエンジニアリング業務を東南アジアで展開する。マレーシアに駐在員事務所を4月開設。現地のサプライヤー開拓などを進め、粉体プラントを提供。(6面)

ビール大手、東南アに照準

M&A・提携で販路開拓

ビール大手が、国内で基幹ブランド強化や収益構造改革で利益を稼ぎつつ、その力を海外に振り向けています。東南アジアを中心に酒類や清涼飲料の需要に照準。M&Aや提携で販路開拓。(13面)

タツモ、ベトナム工場拡張

半導体搬送装置/生産能力4倍

タツモは、半導体搬送装置のベトナム工場を移転、拡張し3月稼働する。生産能力は約4倍。日本で製造する半導体プロセス装置についても大量受注が決まり、ベトナム工場に移管する。(8面)

ビール大手、東南アに照準

M&A・提携で販路開拓

ビール大手が、国内で基幹ブランド強化や収益構造改革で利益を稼ぎつつ、その力を海外に振り向けています。東南アジアを中心に酒類や清涼飲料の需要に照準。M&Aや提携で販路開拓。(13面)

味の素、ASEAN・南米深耕

扱い商品広げる/ミャンマー年内進出

味の素は、海外事業展開で、ASEANなど東南アジアと南米市場の深耕に力を入れる。扱い商品の幅を広げて売り上げ増加を目指す。未進出地域では、ミャンマーに年内にも進出方針。(13面)

鉄道車両にワイヤレス給電

韓国国立大学

KAIST(韓国国立大学)と韓国鉄道技術研究院は、鉄道や物流など大量輸送システムへの応用を目的にしたワイヤレス給電技術を開発した。走行中の車両に60キロワット180キロワットを非接触で給電。(20面)

2月18日(月)

生産管理クラウド、東南ア投入

クオリカ/日系中小製造業向け

クオリカは、東南アジアで、中堅・中小企業向けのクラウド型生産管理システムを拡張する。同じITホールディングス傘下のインテックと連携、タイ進出の日系製造業に取り込む。(11面)

ミャンマー人技術者に研修

日立システムズ/DC技術

日立システムズは、海外産業人材育成協会と連携し、ミャンマーのIT技術者6人にデータセンター(DC)技術の研修を実施した。将来のITインフラ輸出促進につなげる。(11面)

日本で自動車用の鋼管

韓国ボスコ/月産1000トン

韓国鉄鋼大手ボスコは、ボスコジャパンを通じ日本で自動車用の鋼管製造に乗り出す。月産約1000トン。日本企業との合弁会社を設立し、ボスコの三重県の鋼材コイルセンター内に加工拠点。(12面)

「ユニクロ」インドネシア進出

夏めど1号店

「ユニクロ」を展開するファーストリテイリングは、インドネシアに進出する。現地に三菱商事と合弁会社を設立、夏めどに1号店。すでに中国、香港、

製造原価に占める
人件費の比率

出典: ジェトロ

※グラフ

※グラフ

※グラフ

※グラフ

※グラフ

※グラフ

※グラフ

※グラフ

※グラフ